

## 学長告示

本日、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、平成 29 年度の入学式を挙行することができましたことは新潟薬科大学として大きな喜びであります。薬学部 150 名、応用生命科学部 158 名の新生を迎えることができました。さらに、18 名の修士課程および 5 名の博士課程の大学院生を迎えます。皆さんの新たな門出をお祝いするとともに、これまで皆さんを見守り支援されてこられたご家族および関係者の方々にも心からお慶びとお祝いを申し上げます。

新潟薬科大学は、昭和 52 年、すなわち 1977 年に、現在の新潟市西区の上新栄町において開学致しました。丁度本年が開学 40 周年という記念すべき年になるわけで、6,000 名を越える卒業生の方々が各界で活躍されております。新潟薬科大学は薬に関するサイエンスを行う薬学部と食品や環境を取り扱う応用生命科学部の 2 学部からなる理科系の大学です。さらに、1 昨年に生命産業関連事業のプロデューサーを養成する新学科、生命産業創造学科が応用生命科学部に加わりました。いわゆるビジネス系の学科が理系の大学にできたということで、かなり話題になり、開設 3 年目を迎える本年度は 49 名の新生を迎え入れております。

大学は、単に知識を積み上げるばかりでは不十分で、知識から知恵を生み出す場でもあり、独創的なアイデアを基礎にしてサイエンスを発展させなければなりません。皆さんは、これまで高等学校ではどのようにして学習してきたのでしょうか。おそらく、授業で教わったことを覚え、教科書に書いてあることを記憶しようと頑張ってきたのではありませんか。大学でも、高等学校のときと同様に講義が始まるとすぐに、覚えないといけないと思われることが次から次へと出てきます。学問することはものを覚えることだと勘違いしそうになってしまいます。しかし、みなさんが覚えようとしていることの多くは、すでに答えが明らかにされているものなのです。大事なことは、既に答えの分かっていることを知るのではなく、未だ明らかになっていないことを知ろうとすることだと思います。分かっていることが、なぜそうなのかを理解しようとする努力が大切です。これが生きる力の源泉になる知恵の力なのです。

では、知識と知恵との関係をもう少し考えて見ましょう。そのためには、脳における情報処理が大切になってきます。私たちがものを見て映し出される画像は、カメラで映し撮られた画像と同じだと思われています。しかし、実際には両者の間に大きな違いがあるのです。いま、子犬の写真を撮ろうとしている場を想像してください。カメラのフィルムなどの感光体に映し出さ

れる子犬の像と、人間の目の網膜に映し出される子犬の像は、確かに同じもののなのですが、違いは、網膜における光学情報は脳にまで送られるという処にあります。脳では、これまで蓄積された知識や経験に基づいた情報処理を行って、それによるパターン認識像を私たちは“見えたものの子犬”であると認識するわけなのです。従って、同じ子犬を見たとしても、認識される子犬像は人によって異なったものになります。同じものを見たとしても、そのパターン認識像は人によって異なってくるからなのです。私たち人間の脳は画像以外のいろいろな刺激に対しても、それぞれが持っている知識情報の助けを借りて情報処理を行っているのです。この様に刺激を情報として変換するためには知識が大きな役割を果たします。有用な知恵を獲得するためには、質の高い知識と多様性のある情報処理能力ばかりでなく、“どうしてそうなのか”という疑問を持ち、これを解き明かそうとするパワーが必要になります。積極的に知識を知恵に変換することによって新しい世界が開けるのだと思います。

学生生活でもう一つ大切なことは、将来自分はどの様にして社会に貢献していったらいいかという志を持つようにすることだと思います。大学での生活は、これまでの高等学校での生活とは異なり、かなり自由度がありますので、最初は戸惑うことも多いかと思います。しかし、自由な生活に安易におぼれることなく、入学に際して、自分が大学でしたいと思ったことをどうしたら実現できるのかという設計図を作って実行できるようにして頂きたいのです。

そのためには、何をしないとイケないのでしょうか。一つは自分の世界に閉じこもらないで、よき友人を作ることです。学部や学科を越えた交流は学生生活を豊かにしますので、幅広く、くすり、環境、食品などのライフサイエンスを学んで、よき友人を作って下さい。大学で得た友人は、皆さんが将来社会で活躍するうえで無くてはならない大きな財産になるはずです。よき友人と、人生を語り合い、明るい未来への展望を期待するなかで、自分の志を築き上げていくことができるはずです。大いに学生生活をエンジョイしてください。

本日の入学式が皆さんにとって意義深いスタートになることを心から期待しております。ご入学まことにおめでとうございます。

平成29年4月5日

新潟薬科大学学長 寺田 弘